

次期最上位計画策定に係る市長との意見交換会 意見等一覧

日 時	令和4年7月23日(土) 10:00~11:30	場 所	八原コミュニティセンター
参加者数	17人		

[用例：●…意見, ◆…要望, ■…質問]

■計画期間を8年間とした根拠は何か

☞市長任期(4年)に合わせ、マニフェストを適時反映できるようにすることが一つの理由

- 人口減少に歯止めをかけるのは難しい。政策的な取組が必要である。
- 少子化対策として、「子どもを産むこと」については、学校教育の中で取り組んでいく必要があるのではないか。
- 「住み続けたいまち」は、市民一人ひとりが意識しなければならない。市内一斉清掃がなければゴミ拾いはしない、という感覚ではいけない。
- 市民一人ひとりが身近なところから変えていくべきである。例えば、近所へのあいさつなどから始めていくべき。年配者が率先して行うことが重要
- 個々人での取組の浸透は難しい。町内会や自治組織など、組織の動きをベースに活動を進めていくべき。
- 近所との関わり合いは希薄になってきている。まちを上げて「あいさつ運動」を進めてもよいのではないか。
- 市の魅力をもっと外部へアピールすべき。「市の名前がかっこいい」といった民間調査もあったので、そういうところを活かしたイメージ戦略を考えなければならない。
- 若者に定住をしてもらうためには仕事が必要。市内に産業を育成、誘致しなくてはならない。
- 市が持つ「強み」や「弱み」はきちんと把握しておくべき。
- ◆八原小前の駐車場の使い方について、地元への説明をきちんと行ってほしい。
- ◆八原小周辺の登下校の時間の車の進入制限をかけて、事故が起こらないように対応してほしい。
- スポーツを活用してまちを盛り上げるのはいいと思う。eスポーツも活用できるのでは。
- 市長が得意な分野から政策を進めていっていいと思う。
- 事業を行う場合は、そのメリット(経済効果など)を考えて行うべき。
- ◆西貝原塚公園の遊具の一部に瑕疵があるので、子どもが怪我をしないか心配。対応を。
- 市内における不審者情報があまりにも多すぎる。
- 龍ヶ崎の自然やごみごみしていない環境など、都会とは違った魅力がある。このような「いいイメージ」はあえて変える必要はなく、いい意味で「変わらない」まちであってほしい。
- ◆道路の除草作業が遅い。もっと早めに作業をしてほしい。

- 道路の除草作業は、里親制度を活用して、地域へ委託してもよいのではないか。
- 道路の隅切り部分にカーブミラーが設置されている例がある。交通の安全面からも道路への表示で十分なのではないか。
- 次期最上位計画は、市民に分かりやすい作りしてほしい。
- リーディングプロジェクトとアクションプランの関係性が分からないので説明してほしい。
 - ☞リーディングプロジェクトは次期最上位計画の優先する取組であり、アクションプランは年度ごとに策定する実施計画のことである。
- プロジェクトリーダーを決めること、マイルストーン（数値的な目標）を定めたほうがよい。
- 空家の除草等対策をしていただきたい。
- 関東鉄道竜ヶ崎線をたつのこ山まで延伸してほしい。
- 龍ヶ崎市駅までのアプローチが弱い。バスを増便するなど対応してほしい。
- 龍ヶ崎市の治安が悪くなっている。防犯カメラ等を設置して安心して楽しく住む基盤づくりをしてほしい。
- 企業を誘致し、雇用先を確保することが人口増加につながるのではないか。
- 目標人口の数値を高く設定した方がいい。目標が低いと市民はやる気にならないのでは。
- ふるさと納税の返礼品を強化し、税収が増えるようにした方がいい。
- 竜ヶ崎飛行場を活用するとよいのではないか。
- 市として一番力を入れるのは何か。
 - ☞人口減少対策である。プロジェクトだと未来創造プロジェクトである。

アンケート結果

開催日	場所	意見交換会当日アンケート結果(要旨)
R4.7.23	八原	次期最上位計画の推進にあたり市民への説明会は開催するのか。
R4.7.23	八原	プランを実行する上での責任者の明確化を。
R4.7.23	八原	市長と気軽に話ができる機会は年1回程度あると良い。
R4.7.23	八原	挨拶キャンペーンの推進をしてほしい。また各コミュニティセンターで小貝川決壊の際のビデオを流せば防災意識の高揚につながるのではないか。
R4.7.23	八原	格好いい市の名前をもっとPRしてもいいのでは。